



DH SYSTEM
大日本塗料株式会社

商品番号 9501

エポニックスPH

1. 一般名 フェノールエポキシ樹脂塗料
 2. 規格 社内規格
 3. 特徴 1) 防食性にすぐれている。
 2) 耐熱性に優れる（浸漬条件下で Max90℃、大気部で Max200℃）。

4. 塗料性状

項目	内容				
容姿	2液性				
荷姿	20kg セット(主剤: 18.64kg、硬化剤: 1.36kg)				
色相	グレー				
光沢	-				
密度 (23℃)	塗料	1.54			
	揮発分	0.88			
加熱残分	83%				
乾燥時間	温度	5℃	10℃	20℃	40℃
	指触	15時間	10時間	4時間	2時間
	半硬化	24時間	18時間	9時間	4時間
標準膜厚	125μm~150μm				
引火点	SDS参照				
発火点	SDS参照				
爆発限界(下限~上限)	SDS参照				

上記塗料性状の数値は標準を示すものであり、若干の変動がある。

5. 塗装基準

項目	内容				
下地処理	ブラスト ISO-Sa2 ¹ / ₂ (SSPC-SP10)				
調合法	主剤: 93.2部、硬化剤: 6.8部 (重量比)				
可使時間	5℃	10℃	20℃	40℃	
	8時間	7時間	4時間	2時間	
使用シンナー	エポニックスシンナーB				
塗装方法	塗装方法	刷毛塗り		エアレス塗装	
	希釈率	0~10%		0~10%	
	標準塗布量	0.36kg/m ²		0.56kg/m ²	
	標準膜厚	125μm		150μm	
	ウェット管理膜厚	175μm		225μm	
エアレス塗装条件	1次圧 0.4MPa (4kg/cm ²) 以上				
	2次圧 10MPa (100kg/cm ²) 以上				
	チップNo.163-517~719				
塗装間隔	温度	5℃	10℃	20℃	40℃
	最小	24時間	20時間	8時間	4時間
	最大	30日	30日	30日	30日

注) 標準使用量は被塗物の形状や塗装条件によって異なる。

6. 施工上の注意

- 被塗面の油・湿気・じんあい、水分、その他の有害な付着物は完全に除去する。
- 使用時には主剤と硬化剤を規定の割合に混合し、十分攪拌して均一な塗料状態にする。混合比を間違えると十分に塗膜性能を発揮しないばかりか、塗膜が硬化しない事がある。
- 主剤と硬化剤を混合した後は、可使時間以内に使い尽くすこと。
- 余り塗装間隔が長くなると密着不良を生ずることがあるので、必ず規定範囲内で塗り重ねること。尚、規定以上経過した場合は塗膜表面をサンドペーパー等にて研磨し、更にウエスにて清掃してから塗装すること。
- エポニックスシンナーB以外のシンナーは使用しない。
- 塗装終了後は20℃で7日以上養生期間を置くこと。

7. 関連法則

	主 剤	硬 化 剤
危険物表示	第4類第2石油類	第4類第2石油類
有機溶剤区分	第2種有機溶剤含有物	第2種有機溶剤含有物
有害物質表示	SDS参照	SDS参照
劇物表示	-	-

8. 使用上の注意【警告】

- 引火性の液体である。
- 有機溶剤中毒の恐れがある。
- 健康に有害な物質を含有している。

使用上の注意の詳細は容器のラベルに表示。